

平成 26 年度 第 3 回まちづくり推進審議会議事録
(要点筆記)

1、日 時：平成 27 年 2 月 18 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分

2、場 所：基山町役場 4 階大会議室

3、出席委員：(8名)

小原 清信、梁井 朱美、中村 真智子、鳥飼 善治、茂木 清三郎
大久保 由美子、原 三夫、日暮 美圭

欠席委員：(1名)

古賀 徹

4、傍聴人数 0 名

5、審議事項

- (1) 町民提案の受付及び回答の状況 【資料 ①】 1 項～8 項
- (2) 町民提案の経過報告について 【資料 ②】 9 項
- (3) 町民提案の氏名公表について 【資料 ③-1, ③-2】 10 項～15 項
- (4) 各委員によるまちづくり推進審議会での振り返り

6、その他

- ・次回開催日程について

はじめに会長が第3回審議会の開催の挨拶を行った。

続いて、町民提案に対する回答が適切な内容であるかどうか評価をした。

(1) 町民提案の受付及び回答の状況

「交通安全施設・防犯設備等に関する提案」の回答内容や今後の対応について評価を実施した。

概要については、下記のとおり。

- ・提案に対して回答できている案件が「カーブミラー・防犯灯の新設」の3つ、未回答となっているのが「町道の拡幅」1件あることを報告した。
- ・交通安全設置に関して設置の優先順位があるかどうかの質問があった。

(2) 町民提案の経過報告について

平成26年度の町民提案について、提案後の手続き等が完結をしているのは7件で、未完結の案件が11件あることを説明した。また、未完結の案件では今後、工事等により対応するものが9件で、そのうち、平成27年度に設置等をするものについては6件、また防犯灯の設置については3件あり、今年度に設置する回答であると報告した。

この説明に対し、議論された内容は下記のとおり。

- ・経過調査の報告については、町のホームページだけでなく、違う媒体での公表を検討が必要
- ・経過調査の一覧表は、区長会等で情報を提供することを検討が必要

(3) 町民提案の氏名公表について

基山町まちづくり提案書では提案者の氏名等について、提案者の氏名等が非公表の件数は、平成23年度は32件中18件(56%)、平成24年度は25件中12件(48%)、平成25年度は32件中12件(37%)、平成26年度は19件中3件(16%)と年々少なくなってきた事を説明した。また、氏名等を非公表する際のメリットとデメリットについて説明した。

この説明に対し、議論された内容は下記のとおり。

- ・提案者が氏名公表することで、責任ある提案になるのではないかという意見があった。
- ・氏名を公表することで、誹謗中傷されることなどの問題点があるため、公表するかどうかは今まで通り、本人の希望を尊重することが必要という意見があった。

(4) 各委員によるまちづくり推進審議会での振り返り

・審議会の質の向上を目的として、他の自治体への研修や、まちづくり基本条例の研修を開催してはどうかという意見があった。また、提案された箇所について現地確認や、町民提案提出後の結果を見るもいいのではないかという意見があった。

・今まで行政に住民が参画するということがなかったが、この条例が施行されてから、様々な施策などに反映されている。今後、この事をもっとPRすることで町民参画が進むのではないかという意見があった。

・町民提案の中にも提案と要望が混在している。提案は提案として取り扱い、要望は要望として取り扱う必要があるのではないかという意見があった。

- ・まちづくり推進審議会を初めとした各審議会の委員相互に、情報交換を目的とした場を設けるのもよいのではないかという意見があった。
- ・町民が町に対して関心を持っていくことが大きな課題であるという意見があった。
- ・町民が町に対し提案をするというシステムは、以前からと比べるとまちづくりの取組みは進んでいると感じるという意見があった。
- ・出前講座を町が実施してその内容に関して、その場で出た意見について、提案になる案件について提案として処理することを検討してはどうか、という意見があった。
- ・特定のテーマで集まる呼びかけの場を作り、出た意見について提案として処理する仕組みについてを検討してはどうか、という意見があった。

以上この議事録が正確であることを証します。

平成 27 年 5 月 10 日

会長

小原清信



議事録署名人

大久保由美子



議事録署名人

萩木清三郎





王羲之書
急就章
張大千藏